

<大平地域>

■^{だいちゆうじ}大中寺の七^{ふしぎ}不思議



⑥ ^{あかず}不開の雪^{せっちん}隠 (せっちん)

馬首の井戸の手前さたけこたろうにある。佐竹小太郎のあとを追った奥方おくがたも寺に逃げ込んだが、夫の死を知るとこの雪隠せっちん (便所) に入って自害じがいした。



以来、ここに入ると奥方おくがたの生首が出るといった怪異かいが続いたので、不吉ふきつな場所として釘くぎづけにしたという。建物はなかば朽くちかけているが、戸は今も封ふうをされたままであり、大中寺だいちゆうじの七^{ふしぎ}不思議中、ここが一番鬼気ききせま迫る雰囲気ふんいきを伝えている。